



【本校の教育目標】

ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成
～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

「変革・挑戦」

安久小学校便り

令和元年

11月26日発行

都城市建設業組合ボランティア活動

11月9日(土)に、都城市建設業組合の方々70名程来校し、ボランティア活動をしてくださいました。本年度は、中郷地区の小中学校3校(安久小・梅北小・中郷中)を対象に、事前に学校からの要望を集約していただいた活動でした。本校からは、専門家でないと難しい修繕・改修工事等をお願いしました。内容は、老朽化していた運動場バックネット側の小屋の修繕、運動場の排水溝の改修、式台と滑り台の錆落とし、水道蛇口のパッキン替え、電灯反射板の清掃を挙げさせていただきました。当日は、都城市建設業協会の会長;藤田忍様と副会長;清水寛様事務長;常明俊也様も来校され、午前中4時間程かけて活動をしてくださいました。お陰様で、学校の教育環境が立派に整いました。心より感謝申し上げます。【絆】



第3回中郷地区学校運営協議会

11月11日(月)に、中郷中学校において標記の会を開催しました。最初、委員の皆様と一緒に中学生の授業の様子を参観をしました。どの学級も落ち着いた雰囲気の中、授業が行われていました。次に、後久静丸会長と日浅雅道校長の挨拶があり、その後、教頭より中郷地区の目指す児童生徒像「地域に誇りをもち、夢に向かって、明るく元気に努力する中郷の子ども」を具現化するための各学校の取組について報告しました。最後に、意見交換をしましたが、次ような報告や意見が出されました。【気づき・絆】

- 民生委員児童委員連絡協議会では、児童生徒を小学校区ではなく、中郷地区全体で見ていきたいという考えのもと、本年度は、定例会を二つの小学校で、情報交換会を中学校で開催するとともに、運動会や体育大会出席を全員に呼びかけた。
- 地区内の交通安全について、児童生徒が帰宅後にヘルメットを着用しないまま自転車に乗っている現状があるため、学校と地域が協力して児童生徒と保護者に指導及び啓発していく。
- 今後、南九州大学の学生にボランティアを要請したり、この学校運営協議会に参加させたりすることも考えていきたい。
- 中郷地区の課題解決のために、地域が積極的に学校や保護者と連携を深めていく。



中郷地区ふれあい祭り・文化祭



11月9日(土)・10(日)に、標記の行事が行われました。会場には、中郷地区の児童生徒の作品や地域の方々の作品が多数展示してありました。第1日目の福祉祭りでは、各学校の代表が意見発表をしました。本校からは、第6学年の●●●●さんが、「姉の笑顔は元気の源」と題して発表しました。【 気づき・絆 】



「姉の笑顔は元気の源」

6年 ●● ●●

私は、姉がいます。姉の笑顔は、私たち家族の元気の源です。

私の姉は、左大脳欠損孔脳症です。手足は動きますが、移動は車いすです。私たちの話している内容は分かりますが、話すことはできません。食事にも介助が必要です。

現在、20歳の姉は、施設で生活しています。母から聞いた話では、私が三歳のとき、姉が水頭症を発症し、ICUに入っていて会えない1か月、ICUの扉の前のすき間からのぞきながら、「いつ会えるの?」と毎日のように聞いていたそうです。病棟にもどり、会えるようになるというしょに寝て、「お姉ちゃん、お姉ちゃん。」と話しかけていたと聞きました。それぐらい姉のことが大好きだったのだと思います。

私が小学校に入学するころ、また姉の病状が悪化し、入院しました。現在、病院にある施設で生活している姉の所へ家族で会いに行くと、姉はいつも笑顔いっぱいであげてくれます。私も姉とおしゃべりをしたり、アイパッドでいろんな映像を見たりして、楽しい時間を過ごします。楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまいます。私たち家族が帰るときは、姉もさびしそうです。

姉のように、障がいをかかえて生きている人はたくさんいます。でも、障がいをかかえている人を、何か特別な視線で見ている人がいます。その視線によって傷つく人がいることは、考えてもないのだと思います。

障がいをかかえていても、みんな一生けん命に生きています。楽しく生活し、明るく笑っています。姉も、つらくて泣くこともあります。うれしいときは笑顔いっぱい喜びを伝えてくれます。姉は、家族にとってかけがえのない大切な存在です。

もし、すべての人に 私の姉のような家族がいたら、障がい者を差別したり、特別な視線で見たりする人はいなくなると思います。家族でなくても、一人でも障がい者の友達や知り合いがいて、少しでも障がい者のことを理解していたら、そんな態度で接する人は、必ずいなくなると思います。私たちと障がい者は、障がいがあるかないかが違うだけで、同じ一人の人間なのでから。

私は、将来、看護師か介護士になりたいと思っています。この目標をもつようになったのは、姉の存在が大きいです。姉が通院していた病院や入っている施設で、看護師や介護士という仕事を知りました。看護師さんや介護士さんが姉の治療やリハビリをしたり、私たち家族にも親身になって優しく寄り添ったりしてくださる姿を見て、この職業につきたいと思うようになりました。

私は、大好きな姉のことをみんなに知ってほしいので、たくさんの人に姉のことを伝えていきたいです。それは、障がいのある人について理解してもらうための小さな一歩かもしれません。でも、私が伝えていくことが障がい者の理解につながり、支え合える社会になることにつながる大きな一歩となると信じています。

PTA執行部奉仕作業

11月17日(日)、後久静丸様とPTA執行部の方々が、朝の8時から昼の1時頃まで、奉仕作業をしてくださいました。学校近隣の地主さんの許可をいただき、大木の枝を何本も伐採してくださいました。お陰様で、見違えるほどに明るくなり、児童の朝のボランティア活動や昼の清掃が大変楽になります。心より感謝申し上げます。【 気づき・絆 】



受賞 おめでとう!

◇ 空き缶リサイクル (20ポイント達成)

第1学年 ●● ●●さん
第2学年 ●● ●●さん
第2学年 ●● ●●さん

第3学年 ●● ●●さん
第1学年 ●● ●●さん

第1学年 ●● ●●さん
第4学年 ●● ●●さん

◇ 安久少女バレー 【 やる気・根気 】

○ 中郷地区体育協会より表彰
○ 山之口さくらカップ 2位グループ 第3位
○ 沖水チャレンジカップ 2位グループ 準優勝